

1

解説

(1)  $|x-y| \leq x+y$

$$\Leftrightarrow -(x+y) \leq x-y \leq x+y$$

$$\Leftrightarrow -(x+y) \leq x-y \text{ かつ } x-y \leq x+y$$

$$\Leftrightarrow x \geq 0 \text{ かつ } y \geq 0$$

よって、題意は示された。

**注意** 一般に、実数  $a, b$  に対して

$$|a| \leq b \Leftrightarrow -b \leq a \leq b$$

が成り立つ。

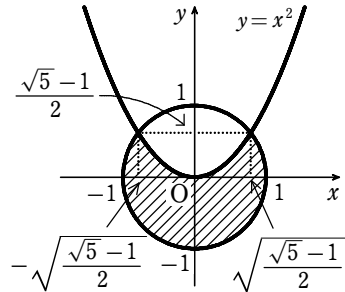
(2)  $X=1-x^2-y^2$ ,  $Y=-y+x^2$  とすると、条件から  $|X-Y| \leq X+Y$

(1) から、 $|X-Y| \leq X+Y$  であることの必要十分条件は、 $X \geq 0$  かつ  $Y \geq 0$  であるから

$$1-x^2-y^2 \geq 0 \text{ かつ } -y+x^2 \geq 0$$

すなわち  $x^2+y^2 \leq 1$  かつ  $y \leq x^2$

よって、求める領域は、右の図の斜線部分である。ただし、境界線を含む。



2

解説

(1)  $f(x) = 1 - \cos x - x \sin x$  から

$$f'(x) = \sin x - \sin x - x \cos x \\ = -x \cos x$$

 $0 < x < \pi$ において、 $f'(x) = 0$ とすると  $x = \frac{\pi}{2}$ 
 $0 < x < \pi$ における  $f(x)$ の増減表は右ようになる。

$$\text{また } f\left(\frac{\pi}{2}\right) = 1 - \cos \frac{\pi}{2} - \frac{\pi}{2} \sin \frac{\pi}{2} = 1 - \frac{\pi}{2}$$

$$f(0) = 1 - \cos 0 = 0$$

$$f(\pi) = 1 - \cos \pi - \pi \sin \pi = 2$$

 よって、 $y = f(x)$ の $0 < x < \pi$ におけるグラフは右のようになる。

 ゆえに、 $0 < x < \pi$ において  $f(x) = 0$ はただ1つの解をもつ。
(2) (1)から  $0 \leq x \leq \alpha$ のとき  $f(x) \leq 0$ , $\alpha \leq x \leq \pi$ のとき  $f(x) \geq 0$ 

$$\text{よって } J = \int_0^{\alpha} \{-f(x)\} dx + \int_{\alpha}^{\pi} f(x) dx$$

$$\text{ここで } \int f(x) dx = \int (1 - \cos x - x \sin x) dx$$

$$= x - \sin x + x \cos x - \int \cos x dx$$

$$= x + x \cos x - 2 \sin x + C \quad (C \text{は積分定数})$$

$$\text{ゆえに } J = -\int_0^{\alpha} f(x) dx + \int_{\alpha}^{\pi} f(x) dx$$

$$= -\left[x + x \cos x - 2 \sin x\right]_0^{\alpha} + \left[x + x \cos x - 2 \sin x\right]_{\alpha}^{\pi}$$

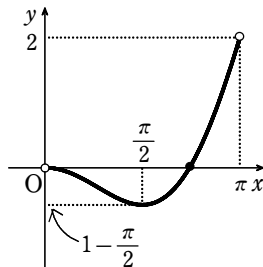
$$= -(\alpha + \alpha \cos \alpha - 2 \sin \alpha) + \pi - \pi - (\alpha + \alpha \cos \alpha - 2 \sin \alpha)$$

$$= 4 \sin \alpha - 2\alpha(1 + \cos \alpha)$$

 ここで、 $f(\alpha) = 0$ から  $1 - \cos \alpha - \alpha \sin \alpha = 0$ 

$$\sin \alpha \neq 0 \text{ から } \alpha = \frac{1 - \cos \alpha}{\sin \alpha}$$

$x$	0	...	$\frac{\pi}{2}$	...	$\pi$
$f'(x)$		-	0	+	
$f(x)$		↘	極小	↗	



$$\text{よって } J = 4 \sin \alpha - 2 \cdot \frac{1 - \cos \alpha}{\sin \alpha} (1 + \cos \alpha) = 4 \sin \alpha - \frac{2 \sin^2 \alpha}{\sin \alpha} = 2 \sin \alpha$$

(3)  $2 \sin \alpha$ と $\sqrt{2}$ の大小を比較する。

$$y = f(x) \text{のグラフから } \frac{\pi}{2} < \alpha < \pi$$

 $\frac{\pi}{2} \leq \theta < \pi$ を満たす実数 $\theta$ において、 $2 \sin \theta = \sqrt{2}$ となる $\theta$ の値は  $\theta = \frac{3}{4}\pi$ 

 よって、 $2 \sin \alpha$ と $2 \sin \frac{3}{4}\pi$ の大小を比較するから、 $\alpha$ と $\frac{3}{4}\pi$ の大小関係を調べる。

$$f\left(\frac{3}{4}\pi\right) = 1 + \frac{1}{\sqrt{2}} - \frac{3}{4}\pi \cdot \frac{1}{\sqrt{2}} = \frac{8 - \sqrt{2}(3\pi - 4)}{8}$$

 $\sqrt{2} < 1.42$ ,  $\pi < 3.15$ であるから

$$\frac{8 - \sqrt{2}(3\pi - 4)}{8} > \frac{8 - 1.42(3 \cdot 3.15 - 4)}{8} = \frac{0.261}{8} > 0$$

$$\text{よって } f\left(\frac{3}{4}\pi\right) > 0$$

 $f(\alpha) = 0$ であるから、 $y = f(x)$ のグラフより  $\alpha < \frac{3}{4}\pi$ 

 関数  $y = \sin x$ は  $\frac{\pi}{2} < x < \pi$ において単調に減少する。

$$\text{ゆえに } 2 \sin \alpha > 2 \sin \frac{3}{4}\pi = \sqrt{2} \quad \text{すなわち } J > \sqrt{2}$$